

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡

（注）3年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡
生産活動	持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある	➡
設備投資	3年度は前年度を上回る見込みとなっている	3年度は前年度を上回る見込みとなっている	➡
企業収益	3年度は増益見込みとなっている	3年度は増益見込みとなっている	➡
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売は、百貨店ではインバウンドの減少など厳しい状況が継続しているものの、足下では国内客の回復など持ち直しの動きがみられるほか、スーパーでは飲食料品を中心に売上が堅調に推移している。コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売は、都市部や繁華街などの店舗では客足が戻りきらず厳しい状況が継続しているものの、住宅街などの店舗では売上が堅調に推移している。ホームセンター販売は、DIY用品や園芸用品の需要等により売上が堅調に推移している。

家電販売は、買替え需要に落ち着きがみられることから、足踏みの状況にある。乗用車の新車登録届出数は、前年を下回っているものの、消費者の購買意欲は、堅調に推移している。旅行取扱の状況は、感染症の影響から、厳しい状況が継続している。

(主なヒアリング結果)

- 9月までは、感染再拡大や入場制限の実施などの影響により、特に厳しい状況が続いたものの、緊急事態宣言の解除後、足下においては、客足が着実に回復傾向にあるほか、売上も高額品を中心に持ち直しの動きがみられる。(百貨店・大企業)
- 在宅時間が増加していることから、総菜や冷凍食品などの中食商品がよく売れており、全体の業況としても、特需があった前年とほぼ同水準になるなど、好調を維持している。(スーパー・大企業)
- オフィスや繁華街など都市部店舗では、客足が戻りきらず厳しい状況が継続している一方、住宅街や郊外の店舗では、在宅勤務や外出自粛の影響もあって、売上は堅調に推移している。(コンビニエンスストア・大企業)
- 都市部の店舗は厳しい状況が継続しているものの、足下で持ち直しつつあるほか、郊外の店舗は引き続き好調を維持しており、前期と比較すると総じて上向いている。(ドラッグストア・中小企業)
- 前年の特需の反動により、食料品や日用品は前年を下回っているものの、コロナ禍における新しい趣味等の定着もあってか、DIY用品や園芸用品などは好調だった前年をさらに上回る水準となっており、売上や客数は引き続き好調を維持している。(ホームセンター・大企業)
- 感染拡大に伴う人出の減少のほか、前年の特別定額給付金による買替え需要の反動から、需要が落ち込んだ状態が続いており、厳しい状況となっている。(家電量販店・大企業)
- 半導体不足や海外工場からの部品供給の遅延等の影響により、納期が長期化しており、収益環境は厳しい。ただし、客足や受注については大きく落ち込んでおらず、総じて堅調に推移している。(自動車販売店・中小企業)
- 足下で問合せや来店が増え始めているものの、全体の業況としては非常に厳しい状況が継続している。先行きについても今後の感染状況に大きく左右されるため、不透明感が強い。(旅行代理店・大企業)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している」

鉱工業指数(生産)で見ると、一部に弱い動きがみられるものの、企業の設備投資の回復などから化学や鉄鋼・非鉄金属などが上昇している。

- 5G向け基地局やデータセンターの新設、自動車の電装化などを背景に半導体需要が高まっていることから、電子材料分野が好調となっている。(化学・大企業)
- 半導体分野で設備需要が増加しており、産業機械向けの需要が好調となっている。(鉄鋼・大企業)
- 海外では、コロナ禍で郊外への移住が促進されたことから、建設機械の需要が旺盛となっている。(生産用機械・大企業)
- 車載電池や車載部品は、自動車減産の影響を受けており、影響は大きくなってきている。(電気機械・大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある」

完全失業率はおおむね前年を上回って推移している一方、有効求人倍率は一進一退の動きである。

- 新事業で人材が不足しており、昨年度まで中止していた中途採用を今年度から再開している。(輸送機械・大企業)
- 現状は雇用調整助成金を活用しながら従業員を維持しているが、今後ワクチンの接種が進み、GoToトラベル等の施策が導入された際には、余剰感が解消され、徐々に人手不足となる見込み。(陸運・大企業)
- 現場含め、全体的に人手不足。引き合いがあっても生産が追い付かない状況。(卸売・大企業)
- 基幹業務システム導入に向けた検討を進めているが、高度な知識を持ったIT技術者が不足しており、求める人材を確保できない状態が続いている。(電気機械・大企業)
- 自治体と連携協定を締結し、感染症患者向けに物資の宅配を行うこととなり、配送スタッフが不足している。(スーパー・組合)

- **設備投資「3年度は前年度を上回る見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和3年7～9月期
 - 製造業では、輸送用機械などが前年度を下回っているものの、生産用機械、電気機械などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売などが前年度を下回っているものの、金融・保険、運輸・郵便などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 研究開発拠点の拡充、生産・物流体制の強化、基幹システム関係の投資などを計画。（生産用機械・大企業）
 ➢ 昨年度後ろ倒しとなった、店舗の修繕やIT関連投資を今年度実施予定。（金融・保険・大企業）

- **企業収益「3年度は増益見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和3年7～9月期
 - 製造業では、化学などが減益となるものの、情報通信機械、鉄鋼などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、学術研究・専門サービス・技術サービスなどが減益となるものの、運輸・郵便、小売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

- **住宅建設「前年を上回っている」**
 - 新設住宅着工戸数で見ると、分譲マンションが減少しているものの、貸家などが増加していることから、前年を上回っている。

➢ テレワークの浸透や在宅時間が長くなったことから住宅への関心は高く、購入を検討する人が増えている。（建設・大企業）

- **輸出「前年を上回っている」**
 - 管内通関実績（円ベース）で見ると、輸出は、アジア向けの半導体等電子部品やアメリカ向けの建設用・鉱山用機械などが増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入は、前年を上回っている。

【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査（令和3年7～9月期調査）の景況判断BSIで見ると、全産業では「下降」超となっている。先行きについて、3年10～12月期は、全産業では「上昇」超の見通しとなっている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額で見ると、独立行政法人等や市町村などで減少していることから、前年を下回っている。
- **金融** 貸出金残高は、前年を上回っている。
- **消費者物価** 大阪市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）で見ると、光熱・水道などが上昇しているものの、交通・通信などが下落していることから、前年並みとなっている。
- **企業倒産** 倒産件数は、前年を下回っている。

3. 各府県の総括判断

	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較	総括判断の要点
大阪府	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は一進一退の状況にある。
京都府	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しつつあり、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しつつある。
兵庫県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は弱い動きとなっている。
奈良県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの持ち直しつつあり、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は厳しい状況にあるものの緩やかに持ち直しつつある。
和歌山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しつつあり、生産活動は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直している。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しつつある。
滋賀県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの緩やかに回復しつつあり、生産活動は回復しつつある。雇用情勢は厳しい状況にあるものの緩やかに持ち直しつつある。